

社会福祉法人 二葉保育園
児童養護施設 二葉学園

二葉だより

発信元

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578
FAX 042-480-5200



コロナ三年目の夏

新型コロナウイルス感染症の状況もやっと落ち着いてきた感があります。東京は新規感染者が千人を下回るようになってきました。学園も一月からのオミクロン株の流行の際、子どもたちが初めて罹患しました。いくつかのホームで感染者が複数出ましたが、症状自体は大事に至らず、ほっとしているところです。

そのような状況ですから、今年こそは様々な取り組みを元通りいや、この二年間の分も含めて取り組みたいと思っていますところなんです。子どもたちと、コロナの状況だからこその取り組みをしていきたいと思っています。今年は夏の行事も完全ではないにしろ今までのように取り組みたいと、計画をすすめているところです。

職員も先日、名古屋の施設

に見学に行かせていただきました。乳児院、児童養護施設、地域支援のひろば事業、里親支援、自立援助ホーム等を運営しており、施設長をはじめ職員の方々が精力的また意欲的に子どもたちとかかわりをもっており、その姿を見させていただき私たちもとても勇気づけられました。

児童福祉法の改正の議論が進んでいます。

1. 子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業の拡充

2. 一時保護所及び児童相談所による児童への処遇や支援、困難を抱える妊産婦等への支援の質の向上

3. 社会的養育経験者・障害児入所施設の入所児童等に対する自立支援の強化

4. 児童の意見聴取等の仕組みの整備

5. 一時保護開始時の判断に関する司法審査の導入
6. 子ども家庭福祉の実務者

の専門性の向上
7. 児童をわいせつ行為から守る環境整備（性犯罪歴等の証明を求める仕組み、など主な内容は以上のとおりです。

この中で、①子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを見直し②里親支援センターの児童福祉施設としての位置づけ③児童相談所による支援の強化として、民間との協働による親子再統合の事業の実施④児童自立生活援助の年齢による一律の活用制限を弾力化⑤社会的養育経験者等を通所や訪問等により支援する拠点を設置する事業を創設⑥児童の意見・意向を勘案して措置を行うため、児童の意見聴取等の措置を講ずること、都道府県は児童の意見・意向表明や権利擁護に向けた必要な環境整備など、私たちが今後事業をすすめていく上で捉えなければならぬポイントになると思っています。



昨今の制度の改正は実践を超えてしまっていて、現場が追いついていない印象を強く持っています。気が付いたらいろんなことが知らないうちに決まってしまうように（決まったとしてもそれが子どもたちの利益となるように）していきたいと思っています。

施設長 小倉要



ホーム移転について



すみれホーム

令和四年四月二十七日、私たちすみれホームは下石原の地に引っ越して参りました。実は、二度目の移転なのです。以前も場所は異なりますが下石原の平屋での生活をしていました。その後、多摩川へ移転。老朽化もあり、この度再移転して参りました。吹き抜けのダイニングルームがある大きな建物です。コロナ禍もあって家具がそろっておりません（六月中旬現在）が、子どもたちが明るく生活しています。焼きそばやたこ焼きなどを、中庭のウッドデッキで食べました。居心地良かったのでしよう。食後に公園に行ってお遊み予定でしたが、そのまま家の周りで走り回り、水鉄砲や如雨露、ペットボトルなどで水を掛け合って過ごしていました。子どもたちの笑顔が、とても印象的でした。

手狭で、古く、修繕を重ねた旧すみれホーム。建物も学園の歴史があるホーム。また、これまでお世話になった多摩川の地域とお別れは少し寂しさもありましたが、近

くの地域なので、子どもたちの友人関係含め、これから関係を保ちながら大切にして参りたいと思います。これまでご心配、ご迷惑をおかけしたこともありましたが、地域の方々のご理解には大変感謝しております。

移転後の地域の皆様も、ご挨拶させて頂いた際に笑顔で出迎えて下さり、またゴルフデンウィーク後にお話を伺った際に、子どもたちの元気な声を聞けて、むしろ元氣をもたえました、と仰って下さった方もいました。私はその笑顔と言葉が励みになっております。これから、この地で子どもたちと共に成長し、未来に向かって歩んで参りたいと思います。

児童指導員 菅大輔



けやきホーム

令和四年三月二十八日多くの方に手伝ってもらい、お世話になった幸町から若松町に引っ越しをしました。新しい環境、人間関係、行動範囲、メンバーでばたばたの日々が、今ではもうだいぶ前のことかと思うくらい、生活に楽しみを見付けられるようになっていきます。

野菜や花や育てられる「庭」があります。私たちは色々なイメージを作り上げています。ホームセンターに必要なものを見に行き、何がどれくらい必要か、何のために必要か、いつ何をすればいいかを話し合っています。が、なかなか計画通りにはいかず、まだ土しかありません。いつの間にか雑草だらけになってしまいましたが、それに気が付いた子が雑草抜きをしてくれたので、一部分だけきれいになっています。

庭と同じくらい子どもたちが大事にしている空間は、「風呂場」です。明るくて足の延ばせる空間は、ひとりでゆっくり過ごせる大切な場所です。風呂場から笑ったり歌ったり、怒りの音がきこえてきたり、大事に使わせてもらっています。

ご迷惑をかけ続けた十五年、「子どもの声がきこえるのはいいね」「元氣にあいさつをしてくれるから気持ちがいいよ」「あの子は元氣にやってるのかい」と地域の方に声を掛け続けられ、生活をしていくことができました。幸町でお世話になっていた皆さま、豊かな生活をさせていただき、ありがとうございました。若松町の皆さま、よろしくお願いいたします。

児童指導員 遠藤敦子



新任挨拶

今年度から養護主任になりました足立理美と申します。十三年間ホーム担当としていつも身近に子どもたちを感じてきました。

子どもたちの日常生活から今までより少し距離ができてしまいうだろうこの「養護主任」という仕事にどう向きあえばいいのかわからない不安な気持ちで今年度を迎えたというのが正直なところでした。わからなかった壁にぶつかると毎日。しかし、私の大好きな二葉学園の職員と共に働けること、二葉学園の大事にしてくれたものが子どもたちの笑顔につながっていることを日々感じ、最近抱えていた不安も少し小さくなっています。

一年目辛かった時期に当時担当していた子から「足立は頑張ることが取り柄だから」と言われたことがありました。これからも大変なことがないとは言えませんが、この言葉を胸に少しでも学園で生活する子どもたちの笑顔が増えるよう、緑の下の方を持ちとして頑張ります。

養護主任 足立理美

寄付金報告

児童養護施設 二葉学園にいただきましたご寄付についてご報告いたします。

昨年度いただきました総額「2, 964, 138円」の寄付金を下記のとおり使用させていただく予定です。皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

・誕生日プレゼント、クリスマスプレゼントの費用	580, 000円
・今年度の卒園児の自立準備金	250, 000円
・児童の被服費として	580, 000円
・児童の習い事費用として	574, 138円
・児童のお小遣いの増額分として	980, 000円

※卒園生の方から児童が自由に使えるお小遣いに充ててほしいと寄付をいただき、昨年度のうちに使用させていただきました。

二葉学園委員会活動報告 ～性課題委員会～

二葉学園の中で、性課題支援委員会が立ち上げられてから7年目になります。施設内での性に関するトラブルが起きていたことや、職員間においても性教育やその性に対する意識、価値観にずれが生じていたことから、生活上の大小様々な性課題に対する意識が向上し取り扱われることを目指し、性課題支援委員会が発足しました。

(立ち上げではまず児童、職員間の関わり方や距離のとり方について考えるために検討を行いました。家庭的養護を追求してきた学園だからこそ、今まで大切にしてきた取り組みを大事にしたいことを改めて共有しつつも、性的トラブルを回避するための判断基準を作成するべく、長時間話し合いを持つことが出来ました。)

子どもたちに向けて、生と性、両方を大事にしてほしいとの思いと、性課題支援委員会があることの周知を図る両面から、体や心に関する情報をお知らせする「ふたばっこ新聞」を作成し、各ホームのトイレに掲示する取り組みを続けています。新聞には虫歯予防デーや目の愛護デーなどにちなんだ内容や、花粉、果てはカビに関する事など、子ども達の暮らしや生活環境により即した内容を、毎月担当の職員が調べ、それぞれが知恵を絞ってわかりやすく説明をしています。子どもだけではなく、職員の中にも愛読者がいるほど、定着してきました。

今後は各ホームでの性に関する悩みごとを今まで以上に取り扱えるよう取り組んでいくと同時に、子ども達の「こころとからだ」「生と性」がより豊かに育んでいけるよう、学びと実践を積み重ねていきたいと考えています。

児童指導員 油木鉄兵

ホーム紹介

新年度を迎えて(さくら)

暖かい日差しに春の訪れを感じながら、さくらホームの1年がはじまりました。

子どもたちのメンバーは昨年度から変わらずでしたが、成長や生活のしやすさに合わせてお部屋を替え、それぞれ気持ち新たに新年度を迎えられました。

ホームでの約束事や目標について子どもと大人が皆で話し合う「部屋会」では、いつも子どもたちから多くの意見がでできます。今のメンバーになった3年前には、それぞれ自分がしてほしいことの主張ばかりでしたが、子どもたちが決めた今年度の目標は『思いやりをもった言動をしよう、相手の気持ちを考えよう』でした。自分の気持ちだけではなく、相手の気持ちを考えられるようになった子ども達の成長は感慨深いものです。

心も身体も日々成長する子ども達と、たくさん思い出をつくり、充実した1年を過ごしていきたいと思います。

児童指導員 小島 晶子



新年度を迎えて(アスター)

男子ホームになって2年目となり、今年は子ども5人で新年度が始まりました。ほとんどメンバーが変わらなかったこともあり、去年からの課題である「適切な距離感」が今年の目標となりました。

ホームでは一緒にゲームをしたり、クイズを出し合ったり、替え歌を作ったりと笑い声の絶えない、楽しい生活を送っています。時には、ぶつかることもあります。それぞれが心地の良いコミュニケーションや関わり方について考え、日々学んでいっています。

ゴールデンウィークには大國魂神社の「くらやみ祭り」に全員で行き、屋台でくじ引きや射的、昼食として焼きそばやたこ焼きを買って食べました。子ども同士でどこに行くか相談しながら回っており、さらにつながりが強くなったなど感じています。

一人一人の生活を大切にしながらも、集団だからこそその喜びや、楽しさを沢山感じられる1年を目指して日々の生活を送っていきたいです。

保育士 元井 隆蔵



新年度を迎えて(ひまわり)

女子4人のホームになって2年目になりました。今年度は「上品」をテーマ・目標に掲げて生活のスタートをきりました、ひまわりホームです。夕方からお祭りに出かけたり、夕食がダイエットメニューになったり。高齢児であり4人定員だからできることを、大人も子どもも自覚して楽しめています。

人数が少ない分、人と人との繋がりも濃くなりやすく、価値観がぶつかって冷却期間を置いたり、受け入れ合ったり、朝から晩まで皆で過ごしたり。と、目まぐるしい生活を送っております。それでも一緒に過ごす時間の中で見えないつながりは確実に生まれていて、最近では職員である私が、おこがましくも、出勤時に「ただいま～」と玄関を開けてしまうほどです。

嬉しいことも、そうじゃないことも、最大限分かち合いながら、今年も1年健やかに過ごせたら嬉しいです。

保育士 高木 春花



年度末部屋レク(アイリス)

新型コロナウイルスの影響で、遠出をすることができない日々が続いていた中、昨年度末の部屋レクでは、1泊2日で軽井沢へ行く事ができました。

雪が積もっていることを期待して、事前に雪の状況を電話で確認すると「もう雪はないですね。」と言われ子どもたちもがっかり…。しかしいざ軽井沢に着くと、なんと一面雪景色。想定外の雪に驚き、子どもたちは大はしゃぎで雪合戦をしていました。

夜はハンモック付きのロッジに泊まり、BBQ。誰が一番上手にマシュマロを焼けるか、子どもも大人も本気になって勝負をしました。次の日には、トリックアートミュージアムに行ったり、食べ歩きをしたりと盛りだくさんの2日間でした。子どもたちにとっては、心も身体もリフレッシュできる特別な時間になったと思います。

今年度も楽しい思い出を沢山作れるよう、健康に気を付けて過ごせたらと思います。

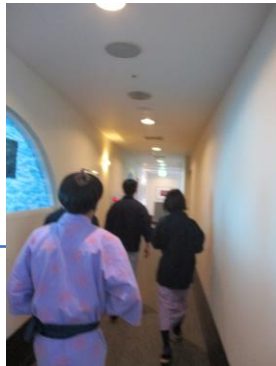
保育士 竹内 青葉



年度末部屋レク(屋久杉)

昨年度、4月に幕を開けた屋久杉では定員6名中5名が卒園を控えたメンバーでした。それぞれの進路に向けひとり、またひとりと年度途中でも二葉学園を巣立っていく中、最後の1名を含めたメンバーでプール付きのホテルに部屋レクへ。屋久杉の高校生たちは多くは語らず、でも一緒になれば分かち合えるメンバーです。1人がブュッフェならではの食事を口にすれば残りの児童も同じものを取りに行き楽しみ、1人が部屋からのオーシャンビューを見にベランダに出れば残りの児童も同じように出て楽しめます。ホームを1歩外に出ると、学校やアルバイト、またそこでの人間関係等様々なことに悩み考え頑張ってくることが多い児童たちですが、時には一緒に生活するメンバーとあれこれ言葉を交わすのではなく、共に時間を過ごし、またそれぞれの生活へ戻っていく屋久杉ホームなのでした。

保育士 玉井 里奈



年度末部屋レク(あじさい)

あじさいホームは春休みに富士サファリパークと富士急ハイランドへ行ってきました！サファリパークでは前が見えない程の凄まじい霧が発生してしまいましたが、逆に珍しい経験が出来たねと前向きに楽しむことが出来ました！動物が好きな子どもが多いので普段見ることが出来ない迫力満点の動物に目を輝かせたり、農業高校に通っている子は得意気に動物の知識を教えてくださいと各々楽しめたようです。

富士急ハイランドでは、皆で果敢に絶叫コースターに挑戦しました。並んでいる時も乗り終えた後も怖さで震えていた子も事あるごとに、楽しかったね！また一緒に乗りたいね！と話してくれるので良い思い出となったようです。

まだまだコロナ禍がいつ終わるのかも分からない状況ですので、気にせず思いっきり行事を楽しめるような日が来ることを心から願っています。

児童指導員 佐藤 溪



新入学(コスモス)

コスモスホームでは、小学校・中学校と2名の児童が入学を迎えました。ピカピカのランドセルや制服を身にまとい少し緊張していましたが、2人とも無事入学式に参加することができました。ホーム近くの桜の木の下で写真を撮った際、いつもより少し背筋を伸ばしている2人が印象的でした。

新しい環境に戸惑う様子もあり心配していましたが、最近は友人も増えてきたようで学校での話を聞くことも多くなりました。運動会や体育祭などの行事も終えて、それぞれ学校生活に慣れてきたようです。

新入学児童だけでなく、日常の様々な所で彼女たちの成長を感じます。これからの学校生活、楽しいことも大変なことも沢山あると思いますが、その中で頑張っていく彼女達を見守っていきたいと思います。

児童指導員 尾曾 佳乃



新入学(菜の花)

菜の花ホームでは今年、1名の女の子が中学生になりました。制服の採寸をしに行き、これから大きくなるからと少し大きめの制服を選んだり、制服の着こなしを考えたり中学生になる前からすでに年ごろの彼女でしたが、いざ制服が届くとはしゃぎまわり、すぐに着てみるものの、タグはつけっ放しだったりとまだまだ子供な部分もありました。

入学式を無事に終わると、期待に胸を躍らせ、クラスの話や部活の話、テストに向けての意気込みなど毎日、毎日話続けています。テストに向けては、しっかりと目標を定め、目標に向けて努力して勉強している様子は、制服の似合う立派な中学生でした。

人間関係や、学習の事、部活や進路など様々な壁が立ちあがるとは思いますが、子どもから大人へと変わっていくこの大切な時期を一緒に成長していけたらと思います。

児童指導員 渡邊 洋暉

行事報告

クリスマス会

今年も本園と各ホームをリモートで繋いでの開催となりました。一部は、東中野教会の浦上牧師にリモートで参加していただき、礼拝を行いました。事前に収録した各ホーム代表の児童による賛美歌のハンドベル演奏は、その綺麗な音色に皆うつとり。厳かな雰囲気の中に華やかさもある1部となりました。

二部は、お洒落なクリスマスパーティーをいただきながらのパーティー。今年も小倉サンタが登場し、『二葉じゃんけん大会』と『絵しりとり』を行いました。他にも五名の児童が出し物を披露。終始皆を温かい笑いで包んだクイズ、K-POPアイドルも顔負けのダンス、繊細さと力強さを感じさせるピアノ演奏と、それぞれの才能と個性と努力が發揮されました。また、2部司会は受験を控える高校3年生の児童がその大役を果たしてくれました。一堂に会しての開催とはなりませんでしたが、ホームごとでまったりゆったりと楽しめたクリスマス会になったのではないかと思います。

児童指導員 岩本奈保美

スキー・スノーボード

新型コロナウイルス感染症が蔓延して以降、毎年恒例だった行事は感染予防の為に中断せざるをえませんでした。が、約三年ぶりにスキー・スノーボードに開催することが出来ました。

初めて雪やスキーに触れる子も多く、初心者始めにスクールを利用してインストラクターの方にスキー板のつけ方から教わりました。一日目は五メートルすべるのも恐る恐るだった子もいましたが、「もう滑れない」とくじけるのではなく、「明日はこうやって頑張る!」「ここができるようになるたい!」と全員前向きに話をしていました。二日目も時間いっぱいまで滑り、初心者コースを一人で滑れるまでに成長する子もいました。以前経験していた子も久しぶりだったため慎重に滑りながら楽しんでいました。

感染対策をしながらの行事は初めてだったため、例年のように移動中や宿で皆でワイワイと過ごすことはできませんでした。子どもたちの協力があったからこそ無事に行くことが出来たと思います。

児童指導員 日野亮子

卒園生を送る会

令和四年度三月十二日に二葉学園の卒園生を送る会を行いました。コロナ禍になって三回目の卒園生を送る会。本来であれば、学園の在園児童・職員が一同に会して行う行事ですが、コロナ対策ということで今年度も式典形式の一部と会食形式の二部構成で実施。

一部では学園からの卒業ということで、卒園式を行いました。会の中で思い出のエピソードを織り交ぜながらこれからのエールの言葉を担当から送り、子どもたちそれぞれからも、学園での生活で気づいたことや担当職員への感謝の気持ちを伝え合う場となりました。フォーマルな恰好に身を包んだ卒園生は、これからの生活に不安を抱えつつも期待と希望に溢れた立派で頼もしい姿だなと在園生や職員は感じたことでしょう。

二部の会食形式は、各ホームで別れて食事の場面をパソコンで繋いで画面越しに卒園生のリクエストメニューの紹介や、一年の思い出の発表をしました。コロナ禍の三年間は学園の行事もほとんどなく、卒園生の顔をあまり知らないという子どもや職員も多くお

り少し寂しさを感じましたが、今年も卒園生の旅立ちを学園全体でお祝いするという機会を大切にしていきたいと思っています。

児童指導員 草野彩佳

卒園生を送る会



スキー



クリスマス会



新任職員紹介

アンケート方式で紹介させていただきます！！

- ①名前 ②所属先 ③これでナンバーワンを目指します！
④好きな言葉 ⑤皆さんへ一言

- ①弓削智美 里親リクルーター
②多摩フォスタリング
③筋トレ（心身ともに鍛えたいと思います）
④一石二鳥
⑤保育、事務を経てリクルーターという職種に挑戦中です。一から勉強中ですが二葉のために頑張ります。

- ①藤木咲羽 児童指導員
②けやきホーム
③なんでも楽しんでやるナンバーワンを目指します！
④どんなことでもいつか役に立つから前向きに。
⑤わからないことも多いですが、一步一步成長していけるように頑張ります。よろしくお願いします！

- ①今木香織 保育士
②ひまわりホーム
③いろいろな料理を作れるようになりたいです。
④頑張るよりも楽しんで！！
⑤子ども達と一緒に成長していきたいです。どうぞよろしくお願いします。

- ①窪田絢子 児童指導員
②菜の花ホーム
③明るさ
④まだまだ分からない事ばかりで迷惑をおかけしてしまうと思いますが、子どもたちとよりよい関係を築いていけるよう、自分自身も子どもたちと共に成長していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

- ①三浦美里 保育士
②アイリスホーム
③子どもの変化に気付けるナンバーワンを目指します！
④みんなちがってみんないい
⑤子どもたちとの生活は新しい発見と学びの連続で、毎日楽しく働かせていただいています。子どもたちと一緒に成長していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

- ①三加真衣佳 保育士
②さくらホーム
③体力
④やってみなきゃ分からない
⑤楽しいことが大好きです！がむしゃらに頑張ります、よろしくお願いします！



二葉学園では、養護の目的を達成するためにご援助を頂いて、より子どもたちの成長をはかるための賛助会を構成して、養護の状況をご報告しながら仕事を進めております。

皆様のご協力とご紹介をお願いいたします。

年会費 一口 1000円

お申し込み先

東京都調布市上石原2-17-7

児童養護施設 二葉学園

TEL 042-482-2578

FAX 042-480-5200

郵便振替 00130-4-47665

毎年報告しています決
済報告に関しましては、
社会福祉法人 二葉
保育園のホームページを
ご覧ください。
<http://www.futaba-yuka.or.jp/>

賛助会員・御支援者 御芳名 (敬称略)

秋葉義孝 秋葉宏子 厚朴修 辻久恵 秋輪和幸 石森康雄 坂倉綾子 野地隆夫 新井美津子 岡本光一 岡本文子
 ぱていすりーど・あん 仙川教会子どもの教会 日本鏡餅組合 子ども地球基金 (財)登戸学寮寮生一同
 志賀勝子 網代正孝 斉藤友子 多胡彬 大橋章人 大橋能里子 桐谷重毅 橋本知 福島穆 岡安泰英 岡安珠子
 高山直人 安納里恵 ちようふ子どもネット青少年ステーション 加幸男 大河原幸子 関沼幸通 (有)柴田商店 柴田明
 ヤング理髪店 永幡紀明 上石原二丁目自治会さくら会 松岡浩 松岡和子 徳井美千代 宮田康成
 調布駅前パソコン教室 多田京子 東京都蒔蒹共同組合 東映(株)テレビ 東中野教会 牧操子
 高橋清一 小松幾世 有賀芳子 大新電気工業(株)武藤修明 原田利裕 堀本縣治 メガガイア調布 田辺一男
 加藤美三 中山正雄 藤澤晴子 (株)ドリームホーム 増岡源吾 B.Rサーティーワンアイス(株) 牧野信也 成田和子
 千賀ひろみ 舟久保由紀子 食肉生活衛生同業組合 坂本悠紀子 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 阿部陽子
 折茂伸満 フードバンク調布 大河内義貴 渡邊幸一郎 萩生田敏二 (有)ダスカジャパンクアウテモック 齋藤隆夫
 染地地域福祉センター (株)神戸屋レストラン 作左部麻希 上野まり子 西光庵 清永道也 清永春美
 府中市主任児童委員会一同 (株)プレナス (社)東京馬主協会 (有)布田屋 掛川亜季 調布市社会福祉協議会 園武友
 公益財団法人資生堂社会福祉事業財団 鈴木洋 藤田奈巳 那須史子 宮川千春 関根裕美 柳原園子 田中秋男
 長澤康浩 徳富善子 泉水洋祐 特定非営利活動法人日本チャリティ活動支援協会 ゴールドマン・サックス証券(株)
 (株)NUK建設設計事務所 一般社団法人東京文具工業連盟 調布市遊技場組合 大島紀子 吉澤貞雄 吉澤治代
 アンダーツリー東京キコナ府中店 フィリップモリスジャパン(株) セカンドハーベスト・ジャパン 池田守彦
 中嶋勝夫 松浦幸子 NPO法人ちようふこどもネット 宇山みえ子 コストコホールセールジャパン多摩境倉庫店
 (株)京王閣 東京調布ライオンズクラブ 渡辺チイ 清水裕子 株式会社ガイア 足立書子 武田康男
 角瀬敬子 島田圭子 小林明信 調布WAT 渡辺喜信 渡辺千重子 滝沢友紀 村岡弘 村岡えり子 村岡海斗
 府中子ども家庭支援センターたち 一般社団法人東京都信用組合協会 調布・狛江地区更生保護女性会
 やきとり大吉糸川 (株)オリエントコーポレーション ワールドメイト 小林肇 関口隆雄 白百合女子大学
 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 中央共同募金会・アサヒ飲料(株) 日本再生(株)代表取締役鷺見健司 西村文子
 健全育成第三地区委員会有志一同 小倉勇 (株)日本M&Aセンター 日本代表取締役社長三宅卓 柳俊一郎
 寺澤玲子 廣瀬剛 河内進一郎 榎本春久 フードフォーキッズプロジェクト 全国シヤンメリー協同組合 森本裕美
 塩野梨沙 株式会社日本出版社販売 松浦幸子 富士天然氷蔵元・不二 高田健吾 佐藤昭 調布市フードドライブ
 大塚商会(株) アメリカンスクールインジャパン NPO法人プラネットカナル (株)サントリーホールディングス
 大島秀治 ボランティニアグループ・すいとびい 奥野宣子 中村敏枝 向當稔 向當君枝 KKアールダブレイン
 高橋一弘 菊池邦夫 西村文子 狛江市狛江友Vビーチボールクラブ 青松佐枝 一般財団法人日本児童養護施設財団
 ドミノピザ調布小島町店 ジエイ・ワーク(株) 調布パルコフードドライブ 鈴木博人 荒井富子 高木久美 大木尚美
 匿名の方

※皆様からのご支援・ご援助、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和三年七月